

# 図書館だより

NO. 126 2008年 8月号  
(2008年8月1日発行)

はつかいち市民図書館  
電話(0829)20-0333  
廿日市市下平良1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

## ブックスタート 講演会

日時 2008年8月26日(火)

13:30~15:30

場所 あいプラザ 多目的ホール  
(廿日市市新宮一丁目13番1号)

講師 NPO法人ブックスタート職員

《対象者》

民生委員・主任児童委員 母子保健推進員 ファミリーサポート  
センター提供会員 子育て支援ボランティア養成講座受講者  
ボランティアに興味のある学生 保育士 地域の学校や公民館  
などでおはなしボランティアをされている方

子どもが好きな人 本が好きな人 ほか

参加費 無料 定員 100名

公共交通機関をご利用ください。

◆電話・FAX又は、はつかいち市民図書館窓口  
で事前にお申し込みください。

### 今月の展示

＜さくらびあ展示＞『戦争と映画』

8月に上映される映画『母ベエ』にちなみ、戦争がテーマの邦画の原作本を展示します。

＜中央展示＞『このほんおもしろいよ』—夏休みに読んでみたい本—

先月に引き続き、小学生・中学生向けに、夏休みにおすすめの本を展示しています。

＜児童展示＞『ふしぎなセカイ』

絵本の中では、動物と一緒に遊んだり、夢の中で冒険したり、世界がさかさまになったり…そんな想像力あふれるふしぎなセカイを感じてみませんか。

＜テーマ展示＞『戦争と平和』—あなたの心に何が映りますか?—

戦争と平和に関する本を展示しています。これらの本から、あなたの心に何が映りますか? コーナーにある用紙に本の名前と感想を書いてください。平和へのメッセージとして掲示します。

「ブックスタート」  
ってどんなこと?

「ブックスタート」は、  
1992年にイギリス教育基金  
団体ブックトラストによ  
ってバーミンガムで始まり  
ました。最近では日本でも多  
くの自治体で取り組まれて  
います。

赤ちゃんと保護者がゆっ  
くりと向き合い、心触れ合う  
ひとときをもつきっかけを  
つくとともに、地域みんな  
で子育てを応援する運動で  
す。

廿日市市に生まれたすべ  
ての赤ちゃんと保護者を対  
象に4ヶ月健診で絵本や地  
域の子育て情報のチラシが  
はいったブックスタートパ  
ックを手渡します。

「図書館員のすすめる本」を紹介します。みなさんからの「私のすすめる本」も引き続き募集しています。ご応募お待ちしております。

## 読書会で読んだ本

一般書

『青い壺』

有吉佐和子／著 913/ア  
1980年 文芸春秋

青磁の壺が、様々な境遇の人に渡り、十余年の歳月を経て製作者の陶芸家と再会するまでをオムニバス形式で描いた作品。

妻と夫、親と子、嫁と姑、理解しあえない家族の愛憎がリアルに描かれている。

同じ壺が、持つ人によって見方が全く異なるという価値観の違いに考えさせれる。皮肉とユーモアで様々な人生の断面を捉え、イキイキと絶妙に描き出すところは、ストーリーテラーとして数々のベストセラーを生み出した作者の力量に圧倒される。

読書会会員 K・K

読書会は毎月第3水曜日

(10:00～12:00)です。詳しくは窓口でお問い合わせください。

## 図書館員のすすめる本

一般書

『プチ哲学』

佐藤雅彦／文と絵 B159/サ  
2004年 中公文庫

哲学！しかもプチ！この題名に引かれて読んでみました。佐藤雅彦さんは、NHKの「ピタゴラスイッチ」を監修されている慶応大学の先生です。やさしい文章と、かわいらしいイラストで、複雑な哲学を見事に紐解いています。「哲学って、人間の生きる智慧」なんだと、なんとなくわかったときは、難解の哲学書もスラスラと読めそうな気がしてきました。先生曰く「自分の身の回りのことでも、ちょっとだけ深く考えてみることで、今まで気づけなかった小さな真実が見えてきたりして、今日が昨日より生き生きとしてきたりする」なるほど……。読書も同じことだと、ふと感じてしまいました。

## 今月の新着 大人の本

図書館には1カ月に約700冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆☆ 図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます ☆☆

- 『ウェブ人間退化論』江高信男／著 PHP研究所 007.3/マ
- 『弱い自分を好きになる本』香山リカ／著 朝日新聞出版 146.8/カ
- 『子どもと親と性と生』安達優雅子／著 東京シュレー出版 367.9/ア
- 『友だちをいじめる子どもの心がわかる本』原田正文／著 講談社 371.4/ト
- 『家族のための現代葬儀大事典』二村祐輔／著 日東書院 385.6/フ
- 『カーボン・オフセット』國田かおる／編著 工業調査会 451.3/ク
- 『脂肪細胞の驚くべき真実』松澤佑次／著 中央法規出版 493.1/マ
- 『抹茶のお菓子』坂田阿希子／著 家の光協会 596.6/サ
- 『はじめてパパになる本』今田義夫・貝嶋弘恒／著 有楽出版社 599/ハ
- 『老犬との暮らし方がよくわかる本』遠藤薫／監修 実業之日本社 645.6/ロ
- 『百貨店戦国時代』川嶋幸太郎／著 産経新聞出版 673.8/カ
- 『毎日釣り日和』夢枕獯／著 毎日新聞社 787.1/ユ
- 『やわらか頭をつくる脳活性あやとり』有木昭久／著 ブティック社 798/ア
- 『昭和の玉手箱』赤瀬川原平／著 東京書籍 914.6/ア
- 『女の生活力 ひとりで暮らすひとりで生きる』上坂冬子／著 PHP研究所 914.6/カ
- 『あなたも作家になれる』高橋一清／著 KKベストセラーズ 901.3/タ
- 『へんな人間図鑑』沢野ひとし／著 KKベストセラーズ 914.6/サ
- 『ヴァン・ショーをあなたに』近藤史恵／著 東京創元社 F/コ
- 『夜』橋本治／著 集英社 F/ハ

新刊

# ことものほん

『ながいながい旅—エストニアからののがれた少女—』

絵イロン・ヴィークランド 文ローセ・ラーゲルクラント 訳石井登志子 岩波書店 E/7

今から60年前のこと。戦争が始まったので、女の子は犬と一緒にいなかの祖母の所へ行きました。バルト海に面した美しい町で、女の子は楽しく暮らしましたが、戦争は徐々に近づいて…。リンドグレン作品の挿絵画家ヴィークランドの自伝絵本。

『—決定版夢をそだてる—スポーツ感動名場面101』

西田善夫監修 講談社 780/1

北京オリンピックの開幕が近づきました。メダルへの期待は高まり、くりひろげられる真剣勝負は人々の胸を熱くします。本書は、オリンピック、ワールドカップ、甲子園などの名勝負とその裏にある人間模様を迫力ある写真とともに紹介しています。

『宇宙においてよ!』

野口聡一著 講談社 538/7

国際宇宙ステーションで船外活動をした宇宙飛行士野口さんの本です。宇宙での生活は、レトルトカレーを温めて食べ寝袋に寝て、まるでキャンプのよう。体験談や子どもたちへのメッセージが楽しい語りと可愛いイラストで綴られていて、宇宙を身近に感じさせてくれる本です。

『カッチョマンがやってきた!』

ミニ・グレイ作・絵 吉上恭太訳 徳間書店 E/7

男の子がプレゼントとしてもらったカッチョマンは、世界平和を守るお助けヒーロー。相棒タワシ犬タワッシーとともに大活躍し、いろんな任務を遂行します。ページのすみずみまで細かい工夫がなされていて、親子で楽しめる愉快的絵本です。

『ファール昆虫記—おとしぶみ—』

文-小林清之介 絵-森上義孝 監修-須田孫七

ひさかたチャイルド E/7

おとしぶみという昆虫を知っていますか?体長1センチくらいの小さな虫です。めすのおとしぶみがくりの葉でおりがみをはじめました。器用に口で葉っぱを切って、下から巻き上げていきます。でも、なぜこんなことをするのでしょうか?ちょっと変わった虫おとしぶみのことがよくわかる本です。

『ヨハネスブルクへの旅』

ビヴァリー・ナイドゥー作 もりうちすみこ訳

橋本礼奈画 さえら書房 933/7

南アフリカのアパルトヘイト体制化のお話。黒人居留区に祖母と暮らす姉弟は、赤ん坊の妹が重い病にかかったので、ヨハネスブルクでメイドとして働く母親を訪ねることにした。やっとたどりついたあたりは、そこで自分たちがひどい人種差別を受けているのを改めて感じるのだった。

## ミニブックトーク

夏休みの過ごし方を紹介します。

待ちに待った夏休み!みんな楽しいことや挑戦したいことなど、やりたいことが目白押しですね。さて、児童書の中の子どもたちは、どんな夏休みを過ごしているのでしょうか?

①は旅行する人のために、植木を預かることにしたトミー。家の中はまるでジャングルのようになり、お父さんの機嫌は悪くなる一方です。ある夜、伸びすぎた植物で家が壊れてしまう夢を見たトミーは…。

②は「夏休みやからいうて、昼までねてるアホがおるか」とかあちゃんにたたき起こされても、ぼーっとして1日が終わってしまうかめきち。とうちゃんからも「宿題は?」「自由研究は?」と聞かれてしまいます。

③は11歳のアレックは海が好きで、ボートを漕ぐのも大好き。ボートレース大会を目指し、借りたボートできびしく孤独な練習を続けます。試練を乗り越え心身ともに成長する少年の姿をさわやかに描いた作品。

④はウォーカー家の4人きょうだいが夏休みを湖水地方で過ごす冒険物語。キャンプをしたり、帆船を乗り回し、無人島で子どもたちだけの生活を楽しむ様子を描いていて第1巻目。シリーズは全部で12巻です。

①『はちうえはほくにまかせて』ジーン・ジオン さく マーガレット・プロイ・グレアム え もりひさし やく ベンギン社 E/7

②『かめきちのおまかせ自由研究』村上しいこ 作 長谷川義史 絵 岩崎書店 913/4

③『アレックと幸運のボート』リー・キングマン 作 山内玲子 訳 岩波書店 933/7

④『ツバメ号とアマゾン号』アーサー・ランサム 作 岩田欣三・神宮輝夫 訳 岩波書店 933/7

# 子どもと本の講座

はつかいち市民図書館では開館して以来、子どもたちに本を手渡していきたいという願いから「子どもと本の講座」を実施してきました。今年「子どもと本をつなぐために」というテーマで、家庭や図書館、ボランティアや学校図書室ができることについて、みなさんといっしょに考えてみたいと思います。

場 所 廿日市市役所7階会議室

対 象 小学生や中学生のお子さんがいらっしゃる保護者の方  
学校やボランティアなどで子どもに本をすすめる立場の方  
子どもの読書に興味のある方 など



回	と き	内 容	講 師
第1回	9/4 (木) 10:00~12:00	学校図書室からみた子どもと本 -東広島市立寺西小学校図書室の運営より-	畠中 厚子 東広島市読書活動推進員
第2回	10/9 (木) 14:00~16:00	子どもと本をつなぐために	吉川 五百枝 子どもの読書ひろしまネット代表幹事
第3回	11/1 (土) 10:00~12:00	新刊絵本を紹介します 2007年11月~2008年10月の間に 図書館に入った本	図書館職員

※1回だけの受講も可。

いずれも申込みは不要ですので、多数のご参加をお待ちしております。詳しくは、はつかいち市民図書館までお問い合わせください。



## 8月の図書館カレンダー

### ◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児  
【時間】1回目 11時~  
2回目 11時30分~  
※整理券を相談窓口で配布します

### ☆おはなし会

【対象】幼児~小学校低学年  
【時間】11時~

場所はいずれも図書館会議室です

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2
3	4 休館	5	6	7	8	9 ☆
10	11 休館	12	13	14	15 ◎	16
17	18 休館	19	20	21	22	23 ☆
24 31	25 休館	26	27	28	29	30